

科目名	死生学
担当教員	片桐 史恵、高木 総平、古川 秀昭、吉川 杉生
学年	1年
開講期	後期
単位数	2
授業形態	講義

到達目標	<p>到達目標は必ず入力してください。</p> <p>人間の生と死の深い知識を習得し、生と死の諸問題に関し基本的、多角的に討論できる。人間福祉学部の学生は、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士などのケア従事者として質の向上を意識する事ができる。スポーツ健康科学部の学生は人に関わる専門家としての質の向上を意識する事ができる。全ての人間に関わる生と死の問題を見つめることを通じ、感性を磨き、答えのない課題に向き合う力を育むことができる。積極的、主体的な学びを体得することも重要な到達目標である。</p> <p>到達目標は必ず入力してください。</p>
------	---

授業概要	<p>講義概要は必ず入力してください。</p> <p>現代社会において各々の領域においてケアを受ける人々の「QOL」を如何に保持し、また高められるかが切実な課題となっている。そのために、すべての人間にとって必然的な帰結である死を前にしての「QOL」もまた考えねばならない。答えのない課題に向き合う力をつけることに主眼を置き、様々な素材を提示し考える授業を展開する。講義科目であるが、グループワークやプレゼンテーションを行う時間を設けている。</p> <p>講義概要は必ず入力してください。</p>
------	--

授業回数について	この授業は16回です。第16回まで入力してください。
----------	----------------------------

授業計画	授業計画は必ず入力してください。		
	No	授業	予習・復習
	第1回	死生学とは何か	学習計画を立てる
	第2回	生と死をめぐる諸問題 —インフォームドコンセント—	予習：インフォームドコンセント、告知の単語の意味を調べよ 復習：家族と告知について会話をする
	第3回	生と死をめぐる諸問題 —グリーフ（悲嘆）ケア—	予習：喪失体験とは何か考えてくる 復習：グリーフケアにおけるケア従事者の役割についてまとめる
	第4回	生と死をめぐる諸問題 —国内外における安楽死の動向—	予習：安楽死という言葉調べてくる。 復習：安楽死の国内外の動向について自分の見解をまとめよ。
	第5回	生と死をめぐる諸問題 —自死への理解と対応—	予習：近年の自殺率を調べる 復習：自殺予防のために何が出来るか考える
	第6回	宗教による生と死の理解 —宗教と死—	予習：人間と宗教について考えてくる事 復習：講義内容をノートにまとめること
	第7回	芸術による生と死の理解	講義終了後は、講義内容を自分なりにノートにまとめておく。
	第8回	芸術による生と死の理解	講義終了後は、講義内容を自分なりにノートにまとめておく。
	第9回	芸術による生と死の理解	講義終了後は、講義内容を自分なりにノートにまとめておく。
	第10回	芸術による生と死の理解 —文学 絵本—	予習：自らが今まで出会った絵本で、生と死を考えさせられた本はどんな本か思い出す 復習：講義内で紹介した本の中から、一冊選び論
	第11回	生と死を見つめる —震災 おもかげ復元師から学ぶ—	予習：震災について考えてくること 復習：ビデオから学び感じたことをまとめる
	第12回	生と死を見つめる —絵本作り—	予習：自らが今まで出会った絵本で、生と死を考えさせられた本はどんな本か思い出す。 復習：講義内で紹介した本の中から、一冊選び論
	第13回	生と死を見つめる —作成絵本発表会—	学んできたことを生かし自ら伝え発信する側になる。グループでディスカッションしながら、絵本作りを進めること
	第14回	生と死の実践 —デス エデュケーションの取り組み—	予習：生と死の教育はどうあるべきか考える 復習：自分ならどんな生と死の教育をするか、具体的にまとめる
	第15回	生と死の実践 —死に逝く人へのケア—	予習：ケアという言葉の意味を調べる 復習：エリザベス・キューブラロスの死にゆく人の心理5段階についてまとめ、自分の見解を論じ
第16回	定期試験	講義内容の振りかえりを行い、理解したことを明らかにした上で、自らの見解を論じることが出来る様、自分なりにノート等にまとめておくこと	

評価方法	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 定期試験 (50%)  2. プレゼンテーション・提出物 (30%)  3. 授業への参加度 (20%)</p> </div>																																				
受講上の注意	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1. 予習復習自発的に行ったうえで、講義を受ける事。 2. 授業への積極的な参加と主体的な学び、真面目な授業態度が求められる。 3. 講義内容の振りかえりを行い、理解したことを明らかにした上で、自らの見解を論じることが出来る様、自分なりにノート等にまとめておく事 4. オムニバスの授業のため授業内容及び順番が変更することもある。 5. 講義中の携帯電話の使用、私語は厳禁。</p> </div>																																				
テキスト (履修者全員が購入するもの)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 5%;">No</th> <th style="width: 35%;">文献名</th> <th style="width: 20%;">著者</th> <th style="width: 15%;">出版社</th> <th style="width: 10%;">出版年</th> <th style="width: 15%;">ISBN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>3.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5.</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	No	文献名	著者	出版社	出版年	ISBN	1.						2.						3.						4.						5.					
No	文献名	著者	出版社	出版年	ISBN																																
1.																																					
2.																																					
3.																																					
4.																																					
5.																																					